

形成外科シニアレジデントプログラム

1. 診療科の特色とスタッフ紹介

1) 当院は、日本形成外科学会認定施設であり、形成外科疾患全般に対応しており、顔面外傷、顔面骨骨折の再建や唇裂手術など頭蓋顎顔面外科治療全般も積極的にを行っている。

2) 部長 田辺敦子

専門分野: 頭蓋顎顔面外科領域、形成外科一般

資格等: 日本形成外科学会専門医 / 皮膚腫瘍外科指導専門医

日本医師会認定産業医

日本美容外科学会専門医

日本がん治療認定医機構暫定教育医

臨床研修指導医

医員 山本知恵

専門分野: 形成外科一般

資格等: 日本形成外科学会専門医

シニア 吉原正宣

専門分野: 形成外科一般

その他に非常勤医師1名の体制。

3) 平成22年の形成外科治療実績

年間外来新患者数 3,012名

年間入院患者数 149名

年間手術件数 716件

2. 研修期間

6カ月以上

形成外科専門医取得希望者のみでなく、形成外科手技の習得希望者も対象とする。(日本形成外科専門医既取得者は対象外。)

当院での研修は、日本形成外科学会専門医取得に際して認定施設での研修期間に換算される。

当院にて専門医取得条件を満たすことは可能であるが、最短4年間の形成外科研修が必要である。(専門医取得条件については、日本形成外科学会ホームページを参照してください。)

3. 目標

【一般目標 GIO】

形成外科診療全般にわたる知識および手技の習得を目標とし、形成外科手術全般の助手が可能となり、最終的には指導医の下に執刀が可能となる事を目標とする。

【個別目標 SBO】

- 1) 創傷治癒・褥瘡・手足の外傷・顔面外傷・熱傷・先天奇形等の基本を述べることができる。
- 2) 外傷・術後の体表変形や先天性奇形を持つ患者および家族の精神的負担・心情に配慮した言動がとれる。
- 3) 基本的な創傷処置、手術手技(皮膚縫合)が行え、小外傷・感染創・褥瘡などに対応できる。
- 4) 治療方針の決定に参加し、基本的手術手技(上皮縫合、埋没縫合、顔面以外の小腫瘍切除術、形成外科手術の助手および手術の一部)が実践できる。

4. 方略 LS

- 1) 形成外科外来診療を指導医とともに担当する。
- 2) 入院患者の主治医となる(6ヶ月間に少なくとも10症例)。その他の患者については指導医とともに診療に当たる。
- 3) ERでの救急外科処置に積極的に参加する。
- 4) 術前カンファレンスで症例を提示し治療方針の決定に参加する。
- 5) 形成外科病棟回診、包交を行う。
- 6) 褥瘡回診に参加する。
- 7) 地方会、KC会等で症例発表を6カ月の間に1回行う。
- 8) 形成外科週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
AM	8:30-10:30 外来研修 10:30- 病棟回診	手術 病棟回診 (適時)	8:30-10:30 外来研修 10:30- 病棟回診	病棟回診	病棟回診	手術 病棟回診 (適時)
PM	14:00- 褥瘡回診 17:00- 手術・症例 検討会	手術 病棟回診 (適時)		14:00- 褥瘡回診	各自症例 の検討等	手術 病棟回診 (適時)

5. 評価 EV

研修記録、手術記録を残し、適時および研修終了時、指導医に提示して評価を受ける。